

人権アラカルト

すべての人が、幸せになる権利を持っています。

人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

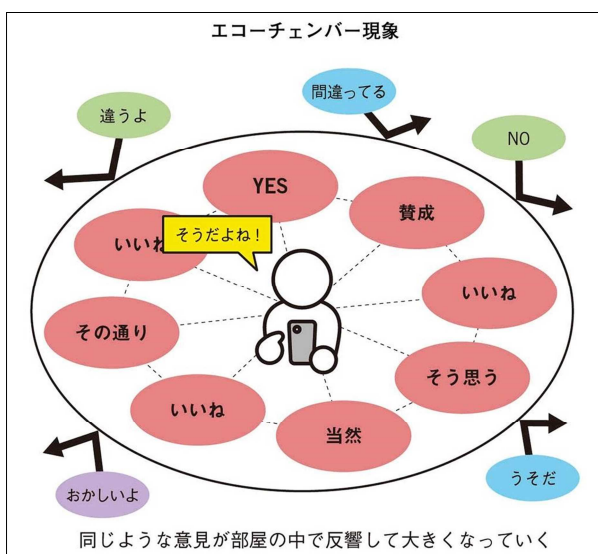
その情報、本当？

情報があふれるインターネットは便利な反面、多くの危険性をはらんでいます。その危険性として問題となっているのが、「フィルターバブル」現象と「エコーチェンバー」現象です。

みなさん、こんな経験はないですか？ ある検索サイトで、サッカーの世界カップのことを検索したとします。すると、不思議なことに、ワールドカップに関連した内容が次々と表示され、とても検索しやすい状態を作ってくれます。アルゴリズムの技術によって、ユーザーにとって興味の高い、有益だと思われる情報ばかりが優先的に集められて表示してくれるようになるのです。これが「フィルターバブル」現象です。ユーザーは、知りたい情報を得やすくなりますが、結果的にある種の情報ばかりに触れることになってしまい、自分の思考や価値観の中で孤立してしまう側面をはらんでいます。

もう一つの危険な現象が「エコーチェンバー」現象です。フィルターバブルによって閉じられた小さな部屋の中で、音がこだまする様子をなぞらえていて、自分が知りたい情報ばかりを選ぶことで、似たような考えばかりに囲まれていくことを意味します。つまり、SNSで自らの意見を発信した場合に、自分に似た意見が集まりやすく、意見の増幅や強化が起きる様子を示しています。

エコーチェンバー現象の怖さは、自分たちの意見に同調する意見が過度に集まることで、自分とは異なる意見や考えに触れる機会が減り、自分の見方や意見が正しいと思い込み、それが間違っていることに気づかなくなってしまうことです。さらに、その偏った意見が集まり増幅していくことで、意見の対立や差別を生み、社会の分断を強めてしまうことにもなりかねません。



(出典)「デジタル空間とどう向き合うか」日本経済新聞出版社

自分に都合のよい情報ばかりを無意識に集める”確証バイアス”という現象は、SNS上で異なる意見を排除してしまう原因の一つと考えられます。特にSNSでは気軽にフォローしたり外したりして、同じ価値観の人たちだけでつながるエコーチェンバー現象が生じやすいと言えます。

その危険性に陥らないためには、「この情報は本当なのか」「今のこの考えは正しいのか」と、まず疑ってみることです。

これからの時代は、インターネット上のどんな情報も安易に信じ込まず、物事を多面的にとらえ正しく判断できる力を身につけることが大切となってきます。